

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月24日

計画の名称	飛越交流圏域活性化計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	岐阜県												
計画の目標	富山県と岐阜県は、世界遺産である「白川郷・五箇山合掌造り集落」のほか魅力的な観光資源を数多く有しており、「富山・岐阜交流の日」協定や「昇龍道プロジェクト」など広域観光の共同推進に力を注いでいるところである。これに加え、北陸新幹線の開業や、東海北陸自動車道の4車線化など高速交通ネットワークの進展によって、飛騨越中エリアは更なる観光客の増加が見込まれる。このことから両県が連携して広域的な周遊観光ルートの道路整備などを推進し、地域振興を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,000	A	3,000	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	【富山県・岐阜県 共通目標】観光客数3,471万人(H26)から3,895万人(H32)に増加(424万人の増)			
	【富山県・岐阜県 共通目標】岐阜県(飛騨地域)・富山県における観光入込客数の増加 (観光客入込数の増加) = (評価時点の観光客入込数) - (H26の観光客入込数)	3471万人	3773万人	3895万人
2	【岐阜県 単独目標】観光客数567万人(H26)から769万人(H32)に増加(202万人の増)			
	【岐阜県 単独目標】飛騨地域における観光入込客数の増加 (観光客入込数の増加) = (評価時点の観光客入込数) - (H26の観光客入込数)	567万人	718万人	769万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)360号 中澤上 工区	現道拡幅 L=600m	飛騨市						450	-	
		1-A1-1																	
	A11-002	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)361号 中之宿 工区	現道拡幅 L=1,350m	高山市						700	-	
		1-A1-2																	
	A11-003	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)156号 御母衣 工区	雪崩対策 L=100m	白川村						500	-	
		1-A1-3 H30より道路事業へ変更																	
	A11-004	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)156号 牧工区	現道拡幅 L=850m	白川村						150	-	
		1-A1-4																	
	A11-005	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	改築	(主)下呂白川線 門和 佐 工区	バイパス L=480m	下呂市						650	-	
		1-A1-5																	
	A11-006	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)257号 黒石工 区	バイパス L=850m	下呂市						550	-	
		1-A1-6																	
										小計						3,000			



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岐阜県事業評価監視委員会にて意見を聴取し、評価を実施	令和5年2月6日
	公表の方法
	岐阜県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・限られた予算の中、事業箇所により優先順位をつけ予算配分することで、道路整備を一因として、平成28年から平成29年には観光客数が増加するなど、観光振興による広域的な地域活性化に寄与したと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・A11-002：（国）361号 中之宿工区の整備により、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアから高山陣屋までの拠点施設間のすれ違い困難箇所が解消 ・A11-003：（国）156号 御母衣工区の整備により、荘川ICから拠点施設である白川郷までの雪崩対策箇所が解消 ・A11-004：（国）156号 牧工区の整備により、荘川ICから拠点施設である白川郷までの急勾配区間に登坂車線を設置 ・A11-005：（主）下呂白川線 門和佐 期工区の整備により、名古屋市境から拠点施設である白雲座までのすれ違い困難箇所が解消
特記事項（今後の方針等）	
・未完了の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、進捗が遅れた事業箇所も計画的に道路整備を進めていく。 【未完了事業】：A11-001、A11-006	

